

安全上のご注意

本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっていきます。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
	警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
	注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

警告

- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用続けると、感電、火災の原因になります。直ちに本体の電源をOFFにしてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。
- 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。
- 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないでください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。
- 雷鳴が聞こえたら、電源ケーブルには触れないでください。感電の原因になります。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属の電源ケーブル以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。
- 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、電源をOFFにして、販売店にご連絡ください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。
- 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
- 本製品を分解、改造しないでください。本製品の火災、感電、破損の原因になります。
- 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。
- 電源ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、直ちに使用をやめてください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルを上にも重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
- 電源ケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
- 電源ケーブルを人が通るところなどひっきりかやすいところに這わせしないでください。踏いて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

使用上のご注意

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。
以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などはBluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

製品保証に関して

・万一、製品のご購入から保証期間以内に製品が故障した場合は、弊社による故障判断完了後、無償にて修理/製品交換対応させていただきます。修理にて交換された本体および部品に関しては所有権は弊社に帰属するものと致します。

● 保証の対象となる部分は製品のハードウェア部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。

● 本製品の故障または使用によって生じた損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

● 当社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておりません。また販売した商品に関連して発生した下記のような障害および損失についても、当社は一切の責任を負わないものといたします。

一度ご購入いただいた商品は、商品自体が不良ではない限り、返品または交換はできません。各機器には対応権があり、ご購入時にご案内していますのでよくご確認ください。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承下さい。

This warranty is valid only in Japan

免責事項

- 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となります。
- 保証書のご提示がない場合、または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
- 設置、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷。
- 輸送・落下・衝撃など、お取り扱いが不適切なために生じた故障・損傷。
- お客様の責に帰すべき事由により生じた機能に影響のない外観上の損傷。
- 火災、地震、水害、盗害、落害、その他天災地災、異常電圧などにより生じた故障・損傷。
- 接続しているほかの機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷。
- お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障・損傷。
- お客様の故意または重大失により生じた故障・損傷。
- ユーザーズガイド記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
- 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外で本製品の部品交換・修理・調整・改造を施した場合。
- 諸費用および製品を入手した場合は、
- 買い上げ製品の故障もしくは動作不良により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体のデータに関する損害、逸失利益、ダウンタイム（稼働停止期間）、顧客からの信用、設備および財産への損害、交換、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、使戻費）等、一切の保証は致しかねます。 またそれらは限定保証の明記がされていない場合であっても（契約、不行為等法理諸の如何を問はず）責任を負いかねます。
- 製品を運用した結果の他への影響につきましては一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい
- 購入された当社製品の故障、または当社が提供した保証サービスによりお客様が被った損害（経済的、時間的、業務的、精神的等）のうち、直接・間接的に発生する可能性のあるいかなる逸失利益、損害につきましても、当社に故意または重大なる過失がある場合を除き、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。また、弊社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された弊社製品などの価格を超えて責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- ・保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様の負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所に送付させていただきます。
- 動作修理作業中や修理中の代用品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より当社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その間にご購入時の価格、増、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- 修理品に関して「製品保証書」を必ず同梱し、下記「お問い合わせについて」に記入された住所までご送付ください。
- 製造中止等の理由により交換商品が入手不可能な場合は同等品との交換となります。
- お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術員およびチェック員を頂く場合がございますので予めご了承ください。
- お客様の都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び運送料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承ください。
- サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品を送付頂いた場合で、症状の再現性が見られない場合、及び製品仕様の前範囲と判断された場合、技術手数料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承ください。

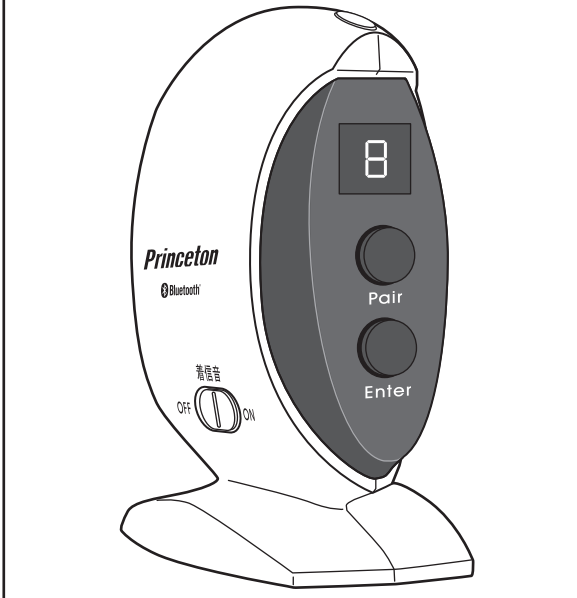
修理／お問い合せについて

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

テクニカルサポート
〒101-0032 東京都千代田区若本町3-9-5 KAIビル 3F プリンストンテクノロジー株式会社 テクニカルサポート課
TEL：03-6670-6848
（受付：月曜日から金曜日の 9：00～12：00、13：00～17：00 祝祭日および弊社指定休業日を除く）
Webからのお問い合わせ：http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html

Princeton

家庭向け電話用Bluetoothアダプタ PTM-TA1 ユーザーズガイド



お買い上げありがとうございます。
ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。
・ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

ご使用になる前に

- ご使用の環境によっては、通話中にエコー現象（通話相手に自分の声が少し遅れて聞こえる現象）が発生する場合があります。このような場合、電話機の音量を下げてみてください。ご使用の電話機によっては、解消されない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

仕 様

対応機種	Bluetooth®規格対応ヘッドセット
動作確認機種	Princeton製Bluetooth対応ヘッドセット PTM-BEMシリーズ
適合規格	Bluetooth® Version2.0+EDR
最大通信距離	約100m ※
対応プロファイル	HSP
伝送方式	FH-SS（周波数ホッピング方式）
周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz
発信出力	Class1対応
セキュリティ	128ビット暗号化
電源	DC6V／300mA
消費電力	1.8W（最大）
動作温度範囲	5℃～35℃
外形寸法	W92.2×D44.6×H98.7mm
質量	110.5g

※ 接続する機器や環境により異なります。
接続するBluetooth対応ヘッドセットがClass2対応の場合、最大通信距離は10mとなります。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新の製品情報や、対応情報を紹介しております。

URL <http://www.princeton.co.jp/>

ユーザー登録について

弊社ホームページにて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」
<http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html>

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ユーザー登録後、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

製品保証に関して

必ず、「保証書」【製品保証に関して】に記載されている内容をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

製品に関するお問い合わせについて

テクニカルサポート

電話：03-6670-6848
受付：月曜日～金曜日の 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）
Webからのお問い合わせ
<http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html>

プリンストンテクノロジー株式会社

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
本書の内容は予告なく変更されることがあります。
本書の著作権はプリンストンテクノロジー株式会社にあります。
本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書では TM ® は明記していません。
本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
Bluetooth® は、その商標権者が所有しており、プリンストンテクノロジー株式会社はライセンスに基づき使用しています。

2010年4月 第2版 Printed in CHINA
Copyright ©2009 Princeton Technology Ltd.

図記号の意味	
	注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
	行為を禁止する記号（⊘の中や近くに禁止内容が描かれています。）
	行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

注意

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光が当たるところや、エアコンの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になることがあります。
- 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源ケーブルを抜けるようにしてください。
- お手入れの際は、安全のため電源ケーブルを抜いてください。
- 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- 電源ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。
- 自動車内で使用した場合、車種によりまれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、そのような場合は使用しないでください。
- 本製品のコネクタ部分を、むやみに指で触れたり金属を接触させたり水気や埃を付着させないようにご注意ください。接触不良や静電気により、本製品の故障や感電の原因になります。
- 本製品に動作対応していない機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

良好な通信のために

- 他の機器とは、見通し距離で約100m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- 電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。他のBluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について

- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth® 機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

- テレビ/ラジオなどはBluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth® 製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth®製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- 本製品で使用している電波は、通常の家庭で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性もありますので、ご注意ください。

ご使用の際は、コピーをして必要事項をご記入ください。

製品保証規定

保証期間：1年保証

- お買い上げになりました機器が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合には、本保証規定に従い無料で故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間中でも次の場合には有償修理となる場合がございます。
- 1) ユーザー登録をされていない場合。
- 2) 本保証書をご提示されない場合、または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
- 3) ご使用の誤り、または不平等修理、調整、改造、誤接続による故障及び損傷。
- 4) 接続している他の機器に起因して生じた故障及び損傷。
- 5) お買い上げ後の輸送や移動、落下等不当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷。
- 6) 火災、天災、公害、盗害、異常電圧や指定外の電圧使用等による故障及び損傷。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 免責事項、製品保証に関する記載も併せてご覧ください。

保 証 書	
製品型番： PTM-TA1	シリアルNo.
保証期間：お買い上げ日	年 月 日 から 1年間
フリガナ	
お客様名：	様
〒	
住所：	
電話番号：	E-mail：
販売店名・住所・電話番号（販売店印）	
（印）	

Princeton

プリンストンテクノロジー株式会社
本社〒101-0032 東京都千代田区若本町3-9-5 KAIビル3F
URL：http://www.princeton.co.jp

特 長

- どんな家庭用電話でもワイヤレス&ハンズフリーで使用可能 ※1
- 市販のBluetooth対応ヘッドセットが利用可能 ※2
- 簡単にペアリングできるパスキー自動設定機能搭載 ※3
- 電話線を2本接続するだけの簡単取り付け
- BBフォンやひかり電話などのIP電話サービスにも対応
- 盗聴されにくく、クリアな音質のデジタル通信方式

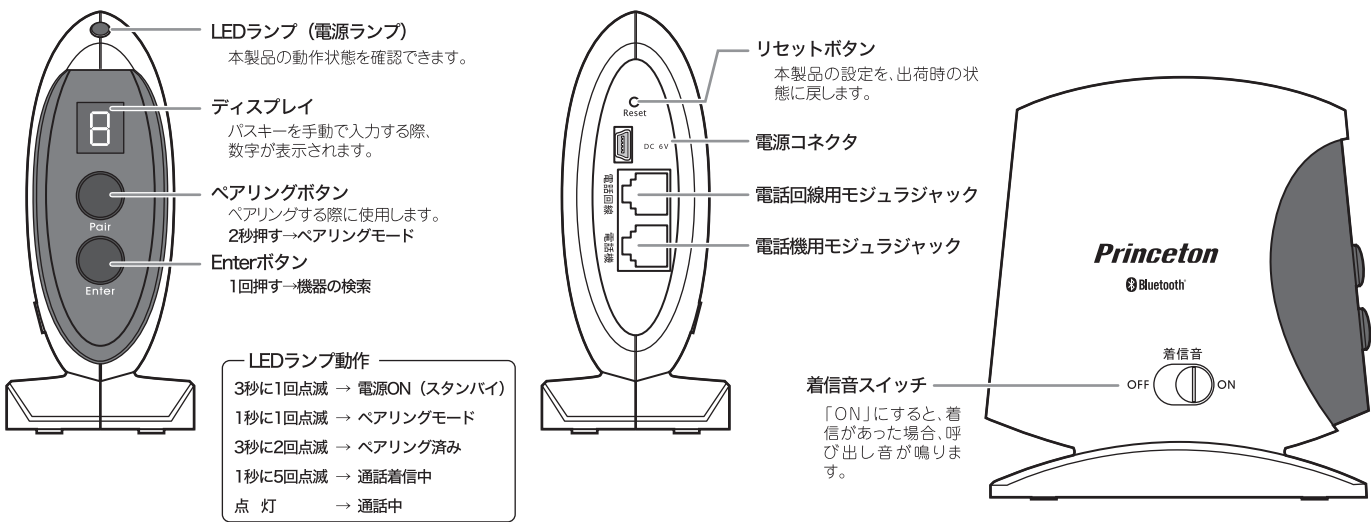
※1：ビジネスフォンではご利用いただけません。
※2：すべての Bluetooth 製品との組み合わせで動作保証するものではありません。
※3：パスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」以外の機器は手動設定が必要です。

付属品の確認

本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。
お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

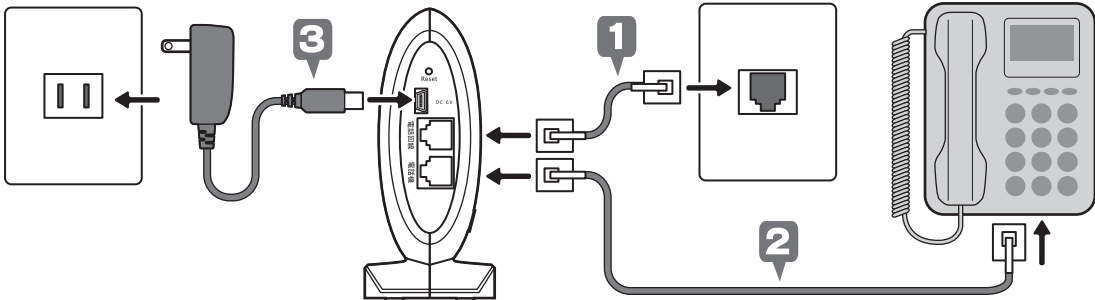
- 本体 ----- 1
- ACアダプタ ----- 1
- RJ11モジュラーケーブル（約2m） -----1
- ユーザースガイド／保証書

各部の名称



機器の接続

- 1 付属のRJ11モジュラーケーブルで、ご家庭の「電話コンセント」と本製品の「電話回線用モジュラジャック」を接続します。
- 2 現在ご使用の電話機に付属しているRJ11モジュラーケーブルで、電話機と本製品の「電話機用モジュラジャック」を接続します。
- 3 電源アダプタで、ご家庭の「コンセント」と本製品の「電源コネクタ」を接続します。本製品のLEDランプが3秒に1回の間隔で点滅を繰り返します。



ヘッドセットの登録（ペアリング）

初めてBluetoothヘッドセットを使用する場合は、始めに本製品とペアリングを行ってください。Bluetoothヘッドセットにあらかじめ設定されているパスキーによって、ペアリング方法が異なります。

- ！ ペアリングには最大2分程度要します。ペアリング中は、むやみにボタンを押すなど機器の操作は行わないでください。

ヘッドセットのパスキーを確認する

ご利用のBluetoothヘッドセットの取扱説明書を参照して、Bluetoothヘッドセットのパスキーを事前にご確認ください。

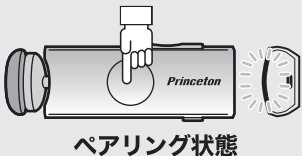
パスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」のいずれかの場合

パスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」以外の場合

パスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」の場合

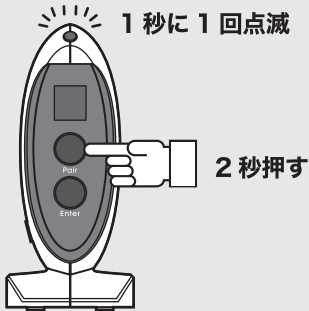
本製品には、あらかじめ4つのパスキーが登録されています。ペアリングするBluetoothヘッドセットのパスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」のいずれかの場合は、下記の手順でペアリングすることが可能です。

ご利用のヘッドセットをペアリング状態にします。
※図は「PTM-BEM5」の場合



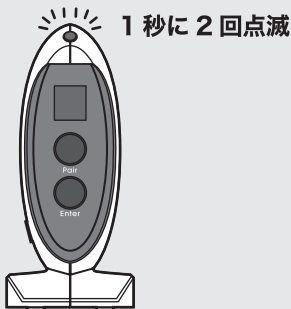
ペアリング状態

本製品の[ペアリング]ボタンを2秒間押して離します。LEDランプが1秒間に1回点滅を繰り返し、ペアリングモードになり、自動的にペアリングを開始します。



2 秒押す

正しくペアリングされると、LEDランプが1秒間に2回点滅を繰り返し、本製品との接続が確立します。



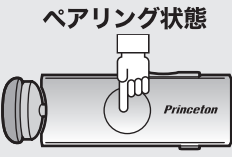
1 秒に 2 回点滅

パスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」以外の場合（パスキーを手動で入力する）

Bluetoothヘッドセットのパスキーが「0000」「1234」「6666」「8888」以外の場合、パスキーの入力が必要です。

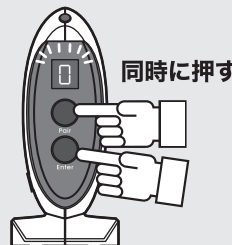
例：パスキーが「5678」の場合

ご利用のヘッドセットをペアリング状態にします。
※図は「PTM-BEM5」の場合



ペアリング状態

本製品の[ペアリング]ボタンと[Enter]ボタンを同時に押します。ディスプレイに「0」が表示されます。



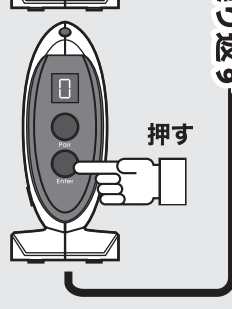
同時に押す

[ペアリング]ボタンを5回押すと、ディスプレイに「5」が表示されます。[Enter]ボタンを押すと、一桁目が入力されディスプレイに「0」が表示されます。



「5」を入力する場合5回押す

再度[ペアリング]ボタンを6回押して、ディスプレイに「6」が表示されていることを確認して、[Enter]ボタンを押します。



4回繰り返す

同様に[ペアリング]ボタンを7回押して、[Enter]ボタンを押します。



押す

最後に[ペアリング]ボタンを8回押して、[Enter]ボタンを押すと、ペアリングを開始します。

正しくペアリングされると、LEDランプが1秒間に2回点滅を繰り返し、本製品との接続が確立します。

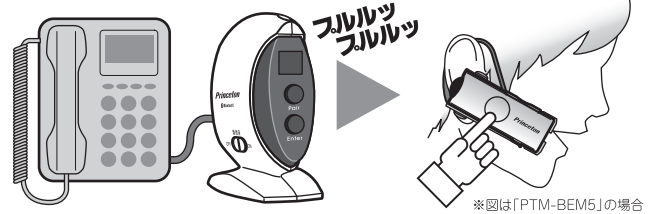
1 秒に 2 回点滅

他のヘッドセットをペアリングする

本製品には、最大8台までのヘッドセットをペアリングできます。2台目以降のヘッドセットをペアリングする際、使用中のヘッドセットとの接続を解除してから、ペアリングを行ってください。9台目以降を登録する場合、一番最初にペアリングされたヘッドセットの情報が自動的に削除されます。

電話を受ける

ヘッドセットと接続が確立している状態（LEDランプが1秒に2回点滅）で、電話機に電話がかかってきたら、ヘッドセットの[通話]ボタンを押して通話を受けることができます。



※図は「PTM-BEM5」の場合

ファックス機能付き電話の場合

ファックスの着信をヘッドセットで受けた場合は、ご使用のファックス機の受信ボタンを押してから、ヘッドセットの通話ボタンを押して通話を終了してください。

通話を終了する

通話が終了したら、ヘッドセットの[通話]ボタンを押して通話を終了します。

電話をかける

ヘッドセットの[通話]ボタンを押して通話状態にします。

電話機の受話器を上げてダイヤルします。

通話が始まったら、電話機の受話器を置いてヘッドセットで通話できます。



※図は「PTM-BEM5」の場合

接続を解除する

ヘッドセットと接続が確立している状態で、本製品の[ペアリング]ボタンと[Enter]ボタンを同時に押します。

接続が解除されると、LEDランプが3秒間に1回点滅を繰り返し、スタンバイ状態になります。



同時に押す

ペアリング済みのヘッドセットを使用する

一度ペアリングしたヘッドセットは、接続を解除しても本製品に情報が登録されているので、再度ペアリングする必要はありません。

「本製品の電源を OFF にした場合」 「ヘッドセットの電源を OFF にした場合」	各機器の電源をONにすると、自動的に「一番最後にペアリングされたヘッドセット」と自動的に接続を確立します。
「自動的に接続が確立されない場合」	下記の「手動で接続を確立する」をお読みください。

一度に接続を確立できるヘッドセットは1台だけです。

手動で接続を確立する

本製品とヘッドセットの電源がONの状態、本製品の[Enter]ボタンを1回押してください。

